

バイオ生成AI研究会

前回までのまとめ

■第1回(2025年6月2日)

- ・研究会発足の経緯、参加者自己紹介、浜田先生 & 白石先生発表、文科省の取組

■第2回(2025年6月30日)

- ・ALIS拠点概要説明、Ledsam氏発表、開発方向性に関する議論

■コアメンバー会議(7月9日、16日、23日)

- ・開発方向性に関する議論

■第3回(2025年7月30日)

- ・開発方向性に関する議論、迫川先生 & 齋藤先生発表

■第4回(2025年8月20日)

- ・開発進捗報告、浅井先生発表

開発進捗報告(8月20日)

- 開発体制（実働部隊）
- 開発環境（遺伝研スパコン DGX-B200 4台）
- 開発項目
 - データチーム：データセット
 - 評価チーム：ベンチマーク、既存モデル評価
 - モデルチーム：モデル構築
- 進捗状況
 - 環境構築
 - データセット構築開始（MAG等）
 - HyenaDNA、EVO1-7B、EVO2-40Bセットアップ
 - HyenaDNAトレーニング実行

第5回バイオ生成AI研究会

2025年9月17日

【プログラム】

16:00-16:05 開会挨拶（国立遺伝学研究所 近藤滋 所長）

16:05-16:10 これまでの経緯についての説明（国立遺伝学研究所 黒川顕 副所長）

16:10-16:25 ゲノム言語モデル開発進捗状況（国立遺伝学研究所 東光一 助教）

16:25-16:50 研究発表①（東京科学大学（山田拓司研究室） 廣田佳亮 博士課程1年）

「DeepRES: Deep learning enables reaction-based comprehensive enzyme screening」

16:50-16:55 休憩

16:55-17:20 研究発表②（東京科学大学 築山翔 助教）「深層学習とシミュレーションを組み合わせたRNAの立体構造の精密化」

17:20-17:30 バイオ系計算基盤の共同利用（国立遺伝学研究所 小笠原理 特任准教授）

17:30-17:45 今後の方向性についての問題提起（文部科学省ライフサイエンス課 倉田佳奈江 課長）

17:45-18:00 議論

18:00-18:05 事務連絡（事務局）

18:05-18:10 閉会挨拶（情報・システム研究機構 喜連川優 機構長）